

2019 ダンロップ ISHINO MEGA3 時間耐久

特別規則書 (2019.2.9)

本大会は、皆で安全に楽しくモータースポーツを行うことを主旨とし、本イベントレース特別規則書に従って開催されます。また、皆が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対して配慮等のご協力も頂き、実施されていきます。なお、本規則書には最低限守らなければならないことが記載されています。記載事項以外に関してもマナー・ルール・安全意識を個々で再確認して頂き、ご参加下さい。

第1章 大会開催に関する事項

1 競技会オーガナイザー及び開催場所・日時

- 1) 主催：[\(株\)石野サーキット](#)
- 2) 開催日時：STAGE 1 (4月21日) STAGE 2 (9月8日)
STAGE 3(11月17日) STAGE 4(2020年2月16日)
- 3) 開催コース：[石野サーキット](#)
- 4) レース方式：4ストロークエンジン搭載したカートによる3時間耐久レース

2 大会目標

- 1) 全チーム完走。参加者全員が楽しくレースを行い、まずは完走を目指せるレース内容。
- 2) ペナルティーが無いマナーのよいレースを目指しましょう。また、チーム等の境界を超えた助け合い。
- 3) 他のチームを誹謗中傷等せず、チーム一丸となり楽しいレースを目指す。

3 公式通知に関する規定

本規則に記載されていない競技運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及び公式通知によって公示されます。なお、公示の方法は石野サーキットウェブサイト上もしくは開催時に掲示されます。

第2章 競技会参加に関する事項

1 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項

オーガナイザーは、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。原則として延期され、イベントの全てが取り止めになった場合エントリーフィーは全額返還されます。また、エントリー及びドライバーはこれによって生じる損失についてはオーガナイザーに抗議する権利を保有しません。なお、オーガナイザーはイベントの内容を変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

2 エントリーの受付と参加資格

- 1) エントリー受付期間：レース開催日より1ヶ月前から1週間前
- 2) 参加資格：身長140cm以上でルール・マナーを守れる方。コースライセンス・SLライセンス・JAFカートライセンスを保持する方 ※当日までに各[ライセンス](#)は取得下さい。

※石野コースライセンスは約40分程度の講習で取得可能。(1年有効¥2,100/人)

3) 参加人員：2名以上であれば何名でもOK!

4) 参加受付：所定の[エントリー用紙](#)を記入頂き、FAX（0565-42-1752）もしくは開催場所窓口にて受付

5) エントリー費用

参加誓約申込書、エントリーフィー（事前入金OK）を当日ご持参下さい。

GT-1 エントリーフィー	¥23,000 / チーム
★GT-MZ エントリーフィー	¥23,000 / チーム

★ YAMAHA-MZ200 エンジンレンタル料 ¥10,000-/基※持込の場合は不要。

★ レンタル車両（シャーシのみ） ¥8,000-/台 ※持込の場合は不要。数に限り有

3 エントリーの受理と拒否

- 1) オーガナイザーは理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。この場合、エントリーフィーは全額返還されます。
- 2) エントリーの受理は、必要事項の全てが明記された参加誓約申込書及びエントリーフィーが受付場所で受理された時点でオーガナイザーの参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知されます。
- 3) 一旦受理されたエントリーフィーはいかなる理由があっても返還されません。

4 レース車両

1) レース参加車両

シャーシ規定：各一般市販品。安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は推奨とする。

2) エンジン

GT-MZ クラス YAMAHA-MZ200 エンジン（レンタル・持込 各エンジン参加可能）

・レンタルエンジンは抽選によるデリバリー制。レンタルエンジントラブルで競技役員が認めた場合のみ1回交換だけ認めます。※貸出エンジンがその時点でない場合はこの限りではない。

エンジンデリバリー配布時間：

開催前日 10：00～16：00・当日 8：00～9：00 抽選受付にて抽選後配布場所にて引渡。

GT-1 クラス SUBARU KX21 エンジン（持ち込みのみ。改造等一切禁止）

ご案内

各ショップさまからのレンタルエンジン・レンタルシャーシでもご参加頂けます。詳しくは受付窓口まで！

3) ウェイトハンデ制

ウェイトハンデ制を適用し、カート重量+全ドライバーの平均体重（装備込）により下記の最低重量のウェイトハンデ制とする。また女性の場合も重量計量が必要となります。

①GT-MZ クラス・・・最低重量 145kg 以上

②GT-1 クラス・・・最低重量 150kg 以上

※ 上記の最低重量に満たしていない場合はウェイト（鉛）を取付・搭載頂きます。

4) ギヤ比

GT-MZ・・・フロント 20T 固定、リアは選択自由（レンタルシャーシのリア 73T で貸出。交換自由※実費）

GT-1・・・フロント 20T、リア 68T の固定

5) 各クラスタイヤ

ドライ・・・ダンロップ SLFD スリック

レイン・・・各メーカー問わず SL レイン

※ レインタイヤのみ SL レイン銘柄であれば各メーカー使用可能。

※ タイヤソフナー等のタイヤの性能向上目的の塗布は禁止。

6) ガソリン

・ ガソリンは各自で用意するものとし、**一般市販ガソリン指定。**

※ガソリンへの添加剤等の混合は一切禁止。

7) ゼッケンナンバー

GT-MZ・・・赤色ベースに白文字

GT-1・・・白色ベースに黒文字

※ ゼッケンナンバーは前後左右 4 箇所貼り付けのこと。

※ 字体のサイズは幅 2 センチ縦 15 センチ以上とし、確認がしづらいと判断された場合は改善指摘させて頂く場合があります。

8) 車両検査

非合法的な部分がありながらも車検にて発見されなかったとしても承認を意味するものではない。レース中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示又は賞典外になる場合がある。各ドライバーは車両検査に立ち会わなければならない。

また、カート車両と装備品類は清潔でかつ正しく整備された状態でなければならない。

※**非合法とは車両・エンジンの改造等。あくまでも楽しむレースという意識でご参加下さい。**

4 ドライバー装備品

肌の露出はケガの恐れがあるため、十分に注意して下さい。

1) スーツ

FIA、FMK/FIA、CIK/FIA、JAF の公認を過去に取得したレーシングスーツ又はワンピースのメカニックスーツであることとします。

※ 過去に公認実績取得したレーシングスーツを安全のため強く推奨します。

※ バイク用ワンピース革つなぎは使用可能です。

2) ヘルメット

フルフェイスヘルメットのみ使用可とします。

※ 著しい損傷・不具合等があるものは変更して頂く場合があります。

3) グローブ

4 輪・カート・バイク・メカニックグローブ又はすべり止め付き軍手を必ず着用し走行して下さい。

4) シューズ

レーシングシューズ・バイク用ブーツ又はくるぶしまで覆う運動靴を着用して下さい。

第3章 競技に関する事項

1 フラッグ

競技中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われます。

① 黄旗（イエローフラッグ）

前方に危険あり、安全を確保した状態で通過せよ。追い越し禁止。

② 赤旗（レッドフラッグ）

レース中断。ドライバーは徐々にペースを落とし徐行してコントロールライン（オレンジ色ライン）手前にて一列で停止する。※赤旗中断中はピットイン・アウト禁止。

③ 緑旗（グリーンフラッグ）

競技再開の合図。コースクリア。

④ オレンジボール旗

指示された番号のカー트에トラブル・不備が発見された場合のピットイン命令。改善必要箇所の修復後、再出走できる。SC中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑤ 黒旗

提示された番号のカー트의ピットイン命令。SC中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑥ チェッカー旗

競技終了。ダブルチェッカー（チェッカーを2度受けること）は失格行為である。

⑦ 「SC」サインボード

セーフティーカー導入。各ポストにて「SC」サインボードを提示する。

※ 提示はメインポスト・1番/3番/5番ポストにて行う。

2 公式練習及び予選

タイムスケジュールに定められている時間内に各チーム参加しなければならない。

3 スタート

1) スタートはスタンディングスタートとする。

2) ウォームラップ（スタート前の1周）に遅れてしまった車両、及びエンジンをストップしてスタートできなかつた車両はピットにて修理した後、ピットからのスタートとなります。

4 出走台数

1) レース最大出走台数は41台とし、これを超える場合は先着順にて決定する。

2) エントリー台数が予定台数に満たない場合にはレース不成立となることがあります。

5 レース中のルール

1) コース進入・ピット進入の際は、必ずドライバーサインを行い走行車へ合図を行って下さい。また、大変危険ですので特にコースに進入する際はピット出口ホワイトラインカットしてはなりません。

2) コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカー트의走行を妨害してはならず、また前方のカー트는後続車の進路を妨害してはなりません。

3) オフィシャルが反則または妨害行為（故意なブッシング、ブロッキングその他の非スポーツマン的行動）

- 為) とみなした行為については競技長よりペナルティーが科せられる。
- 4) レース中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。
 - 5) 故意にコースから車両を離して走行することはショートカットとみなされます。
 - 6) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びレースに復帰する。
 - 7) レース中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカートをレースの障害とならない場所に移動しなければなりません。但し、他を妨害することなく、降車せず自力で再スタートできる場合にはレースに復帰できます。
 - 8) ドライバー交替は決められた場所で行なわなければなりません。
 - 9) ドライバーは工具等を携帯することはできない。またピットへ工具を取りに戻ることやピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできない。
- 1 0) 事故や接触に見舞われたカートは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがあります。
- 1 1) トラックとピットロードを区分するバリアなどに接触もしくはコースインする際の著しくラインをカットしてはいけません。危険と判断した場合や接触した場合は安全走行義務違反としてペナルティーの対象となる事もあります。
- 1 2) 黄旗区間(黄旗提示ポスト～トラブル地点)では追い越しの他に単独でもスピンした場合もペナルティー対象となる場合がある。

6 セーフティーカー (SC) ・フルコースコーションについての規定

1) セーフティーカーが競技長より導入が決定された時点で、原因車両は自力復帰を禁止とする。

セーフティーカー導入決定は全ポスト「SCボード」にて提示される。尚、セーフティーカー導入提示後、復帰した車両は3周+セーフティーカーが周回した数の減算ペナルティーの対象となる。

2) フルコースコーションは以下の順序にて行われる。セーフティーカー介入決定後、直ちに全ポストはSCボードを掲示となり、フルコースコーション・追い越し禁止となる。その時点のレース先頭車両より隊列の先頭となる。セーフティーカーがコースインした際すべての車両はセーフティーカーを先頭に1列整列となり追い越しは禁止。また隊列の前車との車間距離は詰めるよう努めて下さい。但し、トラブル等で隊列についていけなくなった場合は、後続車に合図を送りラインをはずして走行できる。

※隊列に対して大きく出遅れやその恐れがある車両に対してオレンジボール旗によりピットイン指示を促す場合があります。

3) 各ポストよりSCボード提示によるフルコースコーション中のピットインはできません。また、SC導入前にピットインした車両はピット出口よりコースインできますが、コースイン後は直近の隊列最後尾につかないといけない。また、セーフティーカーがピットインしメインポストで緑旗が振動(再開)表示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除されるが、その時コントロールライン(イェローライン)手前での追い越し及び前車への並びかけは禁止とする。

7 ドライバー交代規定とピット規定回数

- 1) 各ドライバーは規定ピット回数内は 1 ステイント=最低5分間以上 (前者のピットイン時間から) 走行しなければなりません。(足りない時間-1分間毎に3周減算)
 - コース上よりカート回収により、パドックに戻った場合はピット回数へはカウントできません。停止したドライバーが乗車してピット一旦停止ラインを通過して下さい。
 - 登録ドライバーがレース中に1度も乗車しなかったことが発覚した場合はペナルティー対象となります。
- 2) ドライバー交代の際は必ず所定の場所までピット記入表にサインを行って下さい。なお、各所定のピットイン回数以上が認められない場合は **1回あたり3周減算ペナルティーの対象**となる。(書き忘れも含む)
- 3) 全チーム対象規定ピット回数 = **12回以上 (両クラス共に)**

8 ドライバーサイン

- 1) ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティーを課することがあります。
 - (a) コース上で停止した場合は、両手を高く振り、他の走行車両に合図する。
 - (b) ピットイン、ピットアウトする場合は必ず他車にわかるよう片手を頭上位置より高く上げる。

9 完走

- 1) 完走者は、レースの着順1位の者がフィニッシュラインを通過後に5分以内に自走して同ラインを通過するか、トップチームの周回数の60%以上走行したチームとします。
- 2) フィニッシュライン (各計測ライン含む) を通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければなりません。
(エンジン動力で進んでいない、マシン回収時等は周回としては認められない。)
- 3) ドライバーはゴールラインを通過後徐々にスピードを落とし(追越しは禁止)正規のコースを走行してピットインしなければなりません。
- 4) 完走者となった車両のみが入賞の対象となります。
- 5) 規定の時間又は周回を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点をもって競技終了とします。また遅れて(時間又は周回数)チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして順位が決定されます。

10 抗議

- 1) 方法と扱いいかなる場合にも抗議は原則として受け付けないものとする。

11 その他の事項

- 1) 場内での喫煙・火気使用について

場内にての喫煙に関しましては施設が用意した灰皿がある指定喫煙場所のみとなります。また、パドック内は特に発火の恐れのある危険物も多い為、火気使用については十分注意頂き必ずお守り下さい。

なお、指定場所以外での喫煙が発見・発覚した場合は関係するチームへ下記のペナルティーが科せられます。

◇指定場所以外での喫煙を発見・発覚した場合：決勝周回数より減算10周。

第4章 損害補償

1) 損害補償の責任について

主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとする。

2) SLO スポーツ安全保険の推奨

SLO スポーツ安全保険は(財)スポーツ安全協会が契約者となる、東京海上火災保険㈱を幹事会社とする損害保険会社10社との間に傷害保険を一括契約する。このSLO スポーツ安全保険の加入を推奨する。